

広島大学インキュベーション研究拠点  
「本能行動の発現メカニズムに関する総合科学研究推進拠点  
—大学生の生活習慣及び科学リテラシーの確立へ向けて—」  
第16回 研究セミナー

本研究拠点の目的は、本能行動をはじめとする様々な生命現象を生命科学・健康スポーツ科学・行動科学等の学際・異分野融合的な立場から解明することです。この度、学外から講師の先生をお呼びし、講演を行っていただきます。教員、院生、学部生を問わず多数のご参加をお待ちしております。

【日時】 2017年11月2日 (木) 14:00~15:30

【場所】 総合科学研究科 講義室 K202

【演者】 中山 和久 (京都大学大学院 薬学研究科 分子生命機能科学専攻)

【題】 繊毛内タンパク質輸送複合体の構築様式と機能

動物のほとんどの細胞に存在する繊毛は、外部からのシグナル（機械的シグナルや発生シグナル分子）を感知するアンテナとして機能します。繊毛に局在する特定の受容体やイオンチャネルなどが、シグナルの受容と伝達に関与します。従って、特定のタンパク質を繊毛内へと選別輸送する「繊毛内タンパク質輸送 (IFT) 装置」は繊毛機能の鍵です。IFT装置は、IFT-A、IFT-B、BBSomeという巨大分子複合体から成り、これらの複合体のサブユニットに変異が起こると、多様な症状を呈する繊毛病になります。本セミナーでは、IFT装置を構成する複合体の構築様式、およびこれらの複合体が繊毛内輸送において果たす役割について解説していただきます。

【問合せ】 斎藤祐見子 (総合科学研究科 行動科学講座 内線6563)

\*本研究セミナーは、総合科学推進プロジェクトの支援を受けています。  
また、理系大学院 (総合科学・理学・先端物質科学・工学・生物圏科学研究科) の認定科目として開催します。